

様式記入例

様式第7号（第10条関係）

景観計画区域内行為届出書

年 月 日

宇多津町長

様

住所

届出者 氏名

印

電話



〔法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。〕

景観法第16条第1項の規定による届出について、次のとおり届け出ます。

条例第12条の事前協議の有無		<input checked="" type="checkbox"/> 有（20 年 月 日） ・ <input type="checkbox"/> 無	
行為の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 建築物	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 外観の変更 建物用途（共同住宅（30戸））	
	<input type="checkbox"/> 工作物	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 外観の変更 工作物の種類（ ）	
	<input type="checkbox"/> 開発行為 <input type="checkbox"/> 土地の開墾、土石の採取、 鉱物の採取その他の土地の 形質の変更	目	
行為の場所		宇多津町 番地 景観形成重点区域 <input checked="" type="checkbox"/> 区域内 <input type="checkbox"/> 区域外	
設計者の住所・氏名		住所 香川県 市 町 番地 氏名 設計事務所 宇多津 太郎 (電話 - -)	
施工者の住所・氏名		住所 香川県 市 町 番地 氏名 建設 宇多津 花子 (電話 - -)	
工事計画	着手予定	20 年 月 日	
	完了予定	20 年 月 日	
※受付欄			※処理欄

- 備考
- 1 該当する項目の□内に✓印を付けてください。
 - 2 条例施行規則別表第1に定める図書を行為の種類に応じて添付してください。
 - 3 別紙1、別紙2又は別紙3を行為の種類に応じて添付してください。
 - 4 チェックシート1又はチェックシート2を行為の場所に応じて添付してください。
 - 5 ※印の欄は記入しないでください。

別紙1 (建築物)

行為の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 外観の変更		
建物用途	共同住宅(30戸)		
最高の高さ	16 m (屋上に設置する建築設備を含む最高の高さ 18m)		
階数	地上 6 階 地下 1 階		
構造	RC 造 一部 造		
	届出部分	既存部分	合計
敷地面積	2,300 m ²	0 m ²	2,300 m ²
建築面積	1,100 m ²	0 m ²	1,100 m ²
延べ面積	7,200 m ²	0 m ²	7,200 m ²
外観面積	m ²	m ²	m ²
屋根	仕上方法	陸屋根 一部スレート	(色彩見本貼付欄) 
	※色彩	5P3 / 1	
外壁	仕上方法	外壁パネル 一部天然石	(色彩見本貼付欄) 
	※色彩	2.5Y8.5 / 1.5	
屋上に設置する建築設備	<input type="checkbox"/> 換気 <input type="checkbox"/> 排煙 <input type="checkbox"/> 非常用照明 <input type="checkbox"/> 昇降機 <input type="checkbox"/> 消火 <input checked="" type="checkbox"/> 給排水 <input type="checkbox"/> 避雷 <input type="checkbox"/> その他 () 高さ 2 m		
緑化の措置	道路境界付近に生垣(ドウダンツツジ) 敷地内に高木植栽(ヤマモモなど)を植栽予定 既存樹木はなし(保全措置なし)		
備考	目隠し板による屋外設備の遮へい		

- 備考 1 この書面は、棟ごとに作成してください。
- 2 該当する項目の□内に✓印を付けてください。
- 3 「外観面積」欄は、外観の変更の場合に、変更する立面の鉛直投影立面積(建物を真横からみた面積)を記入してください。
- 4 ※印欄は、マンセル値を記入してください。
- 5 「緑化の措置」欄は、敷地内の樹木の樹種、本数、既存の樹木の有無及び保全措置を記入してください。
- 6 記入欄のスペースが足りない場合は、「別紙のとおり」と記載のうえ別紙を添付してください。

別紙2 (工作物)

行為の種類	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input checked="" type="checkbox"/> 外観の変更		
工作物の種類	広告塔 (建築物の屋上に設置)		
最高の高さ	工作物の高さ (3 m) 地上からの高さ (16 m)		
構造	造		
敷地面積	1,800 m ²		
	届出部分	既存部分	合計
築造面積	m ²	m ²	m ²
外観面積	15 m ²	5 m ²	20 m ²
長さ	m	m	m
工作物	仕上方法	(色彩見本貼付欄)	
	※色彩	基調色 2.5Y8.5 / 1.5	
	仕上方法	(色彩見本貼付欄)	
	※色彩	アクセント色 5R5 / 15	
緑化の措置	特になし		
備考	アクセント色の面積をできるだけ小さくした。		

- 備考
- この書面は、工作物ごとに作成してください。
 - 該当する項目の□内に✓印を付けてください。
 - 「工作物の種類」欄は、条例施行規則第2条の種類を記載してください。
 - 「外観面積」欄は、外観の変更の場合に、変更する立面の鉛直投影立面積（工作物を真横からみた面積）を記入してください。
 - 条例施行規則第2条第13号に掲げる工作物（塀、さく、垣（生け垣を除く。）、擁壁その他これらに類するもの）の場合は、「長さ」の欄を記入してください。
 - ※印欄は、マンセル値を記入してください。
 - 「緑化の措置」欄は、敷地内の樹木の樹種、本数、既存の樹木の有無及び保全措置を記入してください。
 - 記入欄のスペースが足りない場合は、「別紙のとおり」と記載のうえ別紙を添付してください。

別紙3 (開発行為、土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘採その他の土地の形質の変更)

区域面積	2,000 m ²		
行為地の土地利用現況	畑		
隣接地の土地利用現況	住宅地		
隣接地との土地高低差	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	最低高低差	- 1.0 m	最高高低差 + 0.5 m
土地高低差処理方法	<input checked="" type="checkbox"/> 擁壁 <input type="checkbox"/> 法面		
	高さ	長さ	勾配
法面又は擁壁	0.5 m	10 m	1 : 0.3
法面又は擁壁の仕上方法	石積み擁壁		
既存木竹の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
既存木竹の処理方法	樹姿・樹勢に優れた樹木はなく、全て伐採とした。		
緑化の措置	宅地造成であり、造成時点では植栽の計画はない。		
備考	景観に配慮して、擁壁を石積みとした。		

- 備考 1 該当する項目の□内に✓印を付けてください。
- 2 「隣接地との土地高低差」欄は、行為地が隣接地より低い場合は「(-) マイナス」表示、高い場合は「(+) プラス」表示で高さの差を記入してください。
- 3 「法面又は擁壁の仕上方法」欄は、種子吹き付け・石積擁壁など具体的に記入してください。
- 4 「既存の木竹の処理方法」欄は、処分や保全措置の内容を具体的に記入してください。
- 5 「緑化の措置」欄は、敷地内の樹木の樹種、本数を記入してください。
- 6 記入欄のスペースが足りない場合は、「別紙のとおり」と記載のうえ別紙を添付してください。

様式第8号(第10条関係)

景観計画区域内変更行為届出書

年 月 日

宇多津町長

様

住所

届出者

氏名

印

電話

〔 法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の
所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。 〕

景観法第16条第2項の規定による届出について、次のとおり届け出ます。

届 既 出 存	届出日	20 年 月 日				
	適合通知書	番号	第 号			
		通知日	20 年 月 日			
行 為 の 種 類	<input checked="" type="checkbox"/> 建築物	<input checked="" type="checkbox"/> 新築	<input type="checkbox"/> 増築	<input type="checkbox"/> 改築	<input type="checkbox"/> 移転	<input type="checkbox"/> 外観の変更
	<input type="checkbox"/> 工作物	<input type="checkbox"/> 新築	<input type="checkbox"/> 増築	<input type="checkbox"/> 改築	<input type="checkbox"/> 移転	<input type="checkbox"/> 外観の変更
	<input type="checkbox"/> 開発行為					
	<input type="checkbox"/> 土地の開墾、土石の採取、鉱物の採取その他の土地の形質の変更					
行為の場所		宇多津町 番地				
		景観形成重点区域 <input checked="" type="checkbox"/> 区域内 <input type="checkbox"/> 区域外				
変更の概要		1,100㎡で届出をしていた建築面積を、1,200㎡に変更。				
変更の理由		施主の都合による				
※ 受 付 欄					※ 処 理 欄	

- 備考
- 1 該当する項目の□内に✓印を付けてください。
 - 2 条例施行規則別表第1に定める図書のうち、当該変更の内容を明らかにする図書を添付してください。
 - 3 別紙1、別紙2又は別紙3を行為の種類に応じて添付してください。
 - 4 チェックシート1又はチェックシート2を行為の場所に応じて添付してください。
 - 5 ※印の欄は、記入しないでください。

様式第 11 号（第 13 条関係）

景観計画区域内行為完了届

年 月 日

宇多津町長

様

住所

届出者

氏名

印

電話

〔法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。〕

景観法第 16 条の届出行為が完了したので、宇多津町景観条例第 18 条第 1 項の規定により次のとおり届け出ます。

行為の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 建築物	<input checked="" type="checkbox"/> 新築	<input type="checkbox"/> 増築	<input type="checkbox"/> 改築	<input type="checkbox"/> 移転	<input type="checkbox"/> 外観の変更
	<input type="checkbox"/> 工作物	<input type="checkbox"/> 新築	<input type="checkbox"/> 増築	<input type="checkbox"/> 改築	<input type="checkbox"/> 移転	<input type="checkbox"/> 外観の変更
	<input type="checkbox"/> 開発行為					
	<input type="checkbox"/> 土地の開墾、土石の採取、鉱物の採取その他の土地の形質の変更					
行為の場所	宇多津町 番地 景観形成重点区域 <input checked="" type="checkbox"/> 区域内 <input type="checkbox"/> 区域外					
条例第12条の事前協議の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有（ 20 年 月 日） ・ <input type="checkbox"/> 無					
法第16条第1項の規定による届出	20 年 月 日					
法第16条第2項の規定による届出	年 月 日					
条例施行規則第12条の規定による行為制限適合通知	20 年 月 日（ 第 号）					
行為の完了日	20 年 月 日					
※受付欄					※処理欄	

- 備考
- 1 該当する項目の□内に✓印を付けてください。
 - 2 この届出書には、次の写真を添付してください。
 - ① 法第16条第1項又は第2項の届出の際に添付した現況カラー写真と概ね同一範囲を示す行為完了後の写真
 - ② 建築物、工作物にあつては、上記のほか、法第16条第1項又は第2項の届出の際に添付した立面図に係る行為完了後の写真
 - 3 ※印の欄は記入しないでください。

様式第 12 号（第 13 条関係）

景観計画区域内行為中止届

年 月 日

宇多津町長

様

住所
届出者 氏名 印
電話

〔法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の
所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。〕

景観法第 16 条の届出行為を中止したので、宇多津町景観条例第 18 条第 2 項の規定により次の
とおり届け出ます。

行為の 種類	<input checked="" type="checkbox"/> 建築物	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 外観の変更
	<input type="checkbox"/> 工作物	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 外観の変更
	<input type="checkbox"/> 開発行為	
	<input type="checkbox"/> 土地の開墾、土石の採取、鉱物の採取その他の土地の形質の変更	
行為の場所	宇多津町 番地	
	<input checked="" type="checkbox"/> 景観形成重点区域内 <input type="checkbox"/> 景観形成重点区域外	
条例第12条の事前協議の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有（ 20 年 月 日） ・ <input type="checkbox"/> 無	
法第16条第1項の規定による届出	20 年 月 日	
法第16条第2項の規定による届出	年 月 日	
条例施行規則第12条の規定による行為制限適合通知	20 年 月 日（ 第 号）	
行為の中止日	20 年 月 日	
※受付欄		※処理欄

備考 ※印の欄は記入しないでください。

チェックシート1 (景観形成重点区域以外の景観計画区域)

(表)

1) 建築物・工作物

共通	<input checked="" type="checkbox"/> 地域の特性を考慮し、周辺景観との調和に配慮すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 行為地において良好な景観を形成している建築物、その他の工作物、樹木などの自然の保全に配慮すること。 <input type="checkbox"/> 優れた景観を有する自然や施設などに近接する又は背景とする場合は、主要な視点場からの景観を損なわないよう配慮すること。 <input type="checkbox"/> 歴史的建築物など優れた景観資源の背景を保全することが必要な地域においては、その背景景観を損なわないよう配慮すること。 <input type="checkbox"/> 尾根付近では、稜線のシルエットを乱さない位置や高さとする。	
	具体の配慮事項	建築物の位置・規模、形態・意匠、色彩の設計において、周辺景観との調和に配慮した。 当該敷地に樹姿が優れた樹木があったため、これを敷地内で保全した。
位置・規模	<input type="checkbox"/> 主要な視点場からの眺望を妨げない位置及び高さとする。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 道路などの公共空間に敷地が接する場合には、境界付近のゆとりある空間の創出に配慮すること。	
具体の配慮事項	建物を敷地奥に配置し、道路境界付近のゆとり空間を創出した。	
形態・意匠	<input checked="" type="checkbox"/> 周辺の景観と調和し、全体としてまとまりのある形態・意匠とすること。 <input checked="" type="checkbox"/> 長大な壁面は、周囲への圧迫感を与えないよう配慮すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 屋外設備や付帯施設などは、公共空間に露出しないよう努め、当該建築物との一体性の確保に配慮すること。	
	具体の配慮事項	屋外設備を公共空間から見えない位置に配置した。
色彩	<input type="checkbox"/> 基調色はできる限り彩度を抑えるとともに、周辺景観と調和した色調とすること。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 屋外設備や付帯施設などの色彩は、当該建築物及び周辺景観との調和に配慮すること。	
具体の配慮事項	基調色の彩度を抑え、周辺景観との調和を図った。	

(裏)

素材・緑化など	<input checked="" type="checkbox"/> 周辺景観と調和した素材や地域の風土に合った素材の活用に配慮すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 経年変化を考慮して、耐久性及び耐候性に優れた素材の活用に配慮すること。 <input type="checkbox"/> ガラスなど光沢性のある素材を大きな面積で用いる場合は、周辺景観との調和に配慮すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 敷地内は、できる限りの緑化に努めるとともに、道路などの公共空間に接する場所への緑化に努めること。 <input checked="" type="checkbox"/> できる限り地域の環境に適した在来種や地域に馴染んだ樹木を選定すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 建築物などが周辺に与える圧迫感を和らげるよう、樹種や樹木の高さ、植栽位置等を考慮すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 屋外照明は、過剰な光量とならないよう配慮すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 工事期間中は、周囲の緑化や仮囲いの修景など、周囲の道路からの遮蔽に努める。	
	具体の配慮事項	地域に根づいた素材を活用した。道路境界に生垣を植栽した。
その他	特に留意した点	

備考 該当する項目の□内に✓印を付してください。

チェックシート 1 (景観形成重点区域以外の景観計画区域)

2) **開発行為**、土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘採その他の土地の形質の変更

共通	<input type="checkbox"/> 地域の特徴を考慮し、周辺景観との調和に配慮すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 行為地において良好な景観を形成している建築物、その他の工作物、樹木などの自然の保全に配慮すること。 <input type="checkbox"/> 優れた景観を有する自然や施設などに近接する又は背景とする場合は、主要な視点場からの景観を損なわないよう配慮すること。 <input type="checkbox"/> 歴史的建築物など優れた景観資源の背景を保全することが必要な地域においては、その背景景観を損なわないよう配慮すること。 <input type="checkbox"/> 尾根付近では、稜線のシルエットを乱さない位置や高さとする。
	具体の配慮事項 樹姿が優れた樹木があったため、敷地内で保全を図った。
工法など	<input type="checkbox"/> 土地が不整形となる分割又は細分化は行わないよう配慮すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 現況の地形をできる限り活かし、長大な法面や擁壁が生じないようにすること。 <input type="checkbox"/> 法面はできる限り緩やかな勾配とし、周辺の植生と調和した緑化を施すこと。 <input checked="" type="checkbox"/> 擁壁は周辺景観と調和した形態及び素材とすること。 <input type="checkbox"/> 造成などに際しては、できる限り既存樹木の保全に努めること。
	具体の配慮事項 現況地形を活かし、擁壁の規模を最小化した。 擁壁は、景観に配慮し、石積み擁壁とした。
その他	特に留意した点

備考 該当する項目の□内に✓印を付してください。

チェックシート2（景観形成重点区域）

（表）

1) **建築物** 工作物

共通	<input checked="" type="checkbox"/> 地域の特性を考慮し、周辺景観との調和に配慮すること。 <input type="checkbox"/> 行為地において良好な景観を形成している建築物、その他の工作物、樹木などの自然がある場合には、できる限り形状を変えず保全すること。 <input type="checkbox"/> 優れた景観を有する自然や施設などに近接する又は背景とする場合は、主要な視点場からの景観を損なわないよう配慮すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 歴史的建築物など優れた景観資源の背景を保全することが必要な地域においては、その背景景観を損なわないよう配慮すること。 <input type="checkbox"/> 尾根付近では、稜線のシルエットを乱さない位置や高さとする。
	街並みの連続性に配慮した形態・意匠、色彩とした。 歴史的建築物に隣接するため、建物をセットバックし、歴史的建築物に対する道路からの視野を確保した。
位置・規模	<input type="checkbox"/> 主要な視点場からの眺望を妨げない位置及び高さとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 道路などの公共空間に敷地が接する場合には、その境界線からできる限り後退した位置とする。ただし、調和のとれた街並みの連続性が尊重されている地域においては、道路側の壁面を揃えた位置とすることが望ましい。
	当地区は、境界線付近で壁面が揃っていることから、街並みと調和した和風の塀を隣接建物の壁面と揃えた。
形態・意匠	<input type="checkbox"/> 周辺の景観と調和し、全体としてまとまりのある形態・意匠とすること。 <input type="checkbox"/> 長大な壁面はできる限り避け、分節や陰影をつけるなど、周囲への圧迫感を与えないよう配慮すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 外観意匠を極力和風基調のデザインとし、周辺建築物との調和に配慮すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 壁面や屋根など、街並みの連続性やスカイラインの形成に配慮すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 屋根の形状（勾配など）、向き（妻入り、平入り）、素材などは、街並みの連続性を考慮したものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 屋外設備や付帯施設などは、公共空間に露出しないよう努め、当該建築物との一体性の確保に配慮すること。やむを得ない場合は、周辺景観と調和するよう修景や目隠しなどの措置を施すこと。 <input type="checkbox"/> 屋外広告物の設置はできる限り控えること。やむを得ない場合は、その規模を最小とし、建造物や周辺景観との調和に配慮した景観とすること。
	和風基調のデザインとし、高さを隣接建物と揃えた。 屋根形状についても、隣接建物に揃え、妻入りとした。 屋外設備は、公共空間に露出しない配置とした。

（裏）

色彩	<input checked="" type="checkbox"/> 基調色はできる限り彩度を抑えるとともに、周辺景観と調和した色調とすること。 <input type="checkbox"/> アクセントとして鮮やかな色などを用いる場合は、できるだけ小さな面積とし、周辺景観を損なわないよう配慮すること。 <input type="checkbox"/> 屋外設備や付帯施設などの色彩は、当該建築物及び周辺景観との調和に配慮すること。 <input type="checkbox"/> 多くの色彩やアクセント色を使用する場合は、その数、色彩相互の調和及び周辺景観との調和に配慮すること。
	周辺景観との調和を図った基調色とし、彩度を抑えたものとした。
素材・緑化など	<input checked="" type="checkbox"/> 周辺景観と調和した素材や地域の風土に合った素材の活用に配慮すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 経年変化を考慮して、耐久性及び耐候性に優れた素材の活用に配慮すること。 <input type="checkbox"/> ガラスなど光沢性のある素材を大きな面積で用いる場合は、周辺景観との調和に配慮すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 敷地内は、できる限りの緑化に努めるとともに、道路などの公共空間に接する場所への緑化に努めること。 <input type="checkbox"/> 樹姿又は樹勢が優れた既存の樹木がある場合は、その保全に努めるとともに、積

	<p>極的に修景に活かすこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> できる限り地域の環境に適した在来種や地域に馴染んだ樹木を選定すること。 <input type="checkbox"/> 建築物などが周辺に与える圧迫感を和らげるよう、樹種や樹木の高さ、植栽位置等を考慮すること。 <input type="checkbox"/> 屋外照明は、過剰な光量とならないよう配慮すること。 <input type="checkbox"/> 地域特性に応じた色温度とし、あかりの統一感の創出に努めること。 <input type="checkbox"/> 工事期間中は、周囲の緑化や仮囲いの修景など、周囲の道路からの遮蔽に努める。 		
	<table border="1"> <tr> <td>具体の配慮事項</td> <td>地域に根づいた素材を活用した。 道路境界に生垣を設置した。</td> </tr> </table>	具体の配慮事項	地域に根づいた素材を活用した。 道路境界に生垣を設置した。
具体の配慮事項	地域に根づいた素材を活用した。 道路境界に生垣を設置した。		
その他	特に留意した点		

備考 該当する項目の□内に✓印を付してください。

チェックシート2（景観形成重点区域）

2) **開発行為** 土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘採その他の土地の形質の変更

共通	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 地域の特性を考慮し、周辺景観との調和に配慮すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 行為地において良好な景観を形成している建築物、その他の工作物、樹木などの自然がある場合には、できる限り形状を変えず保全すること。 <input type="checkbox"/> 優れた景観を有する自然や施設などに近接する又は背景とする場合は、主要な視点場からの景観を損なわないよう配慮すること。 <input type="checkbox"/> 歴史的建築物など優れた景観資源の背景を保全することが必要な地域においては、その背景景観を損なわないよう配慮すること。 <input type="checkbox"/> 尾根付近では、稜線のシルエットを乱さない位置や高さとする。 	
	<table border="1"> <tr> <td>具体の配慮事項</td> <td>樹姿が優れた樹木があったため、敷地内で保全を図った。</td> </tr> </table>	具体の配慮事項
具体の配慮事項	樹姿が優れた樹木があったため、敷地内で保全を図った。	
工法など	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 土地が不整形となる分割又は細分化は行わないよう配慮すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 現況の地形をできる限り活かし、長大な法面や擁壁が生じないようにすること。 <input type="checkbox"/> 法面はできる限り緩やかな勾配とし、周辺の植生と調和した緑化を施すこと。 <input checked="" type="checkbox"/> 擁壁は周辺景観と調和した形態及び素材とすること。 <input type="checkbox"/> 造成などに際しては、できる限り既存樹木の保全に努めること。 	
	<table border="1"> <tr> <td>具体の配慮事項</td> <td>現況地形を活かし、擁壁の規模を最小化した。 擁壁は、景観に配慮し、石積み擁壁とした。</td> </tr> </table>	具体の配慮事項
具体の配慮事項	現況地形を活かし、擁壁の規模を最小化した。 擁壁は、景観に配慮し、石積み擁壁とした。	
その他	特に留意した点	

備考 該当する項目の□内に✓印を付してください。